

令和3年度 第2回恵那市スポーツ推進審議会

日時：令和4年3月14日（月）

13時30分～

場所：恵那市消防防災センター

1. 開会あいさつ

2. 会議の公開、公表について

3. 報告

報告1 オリンピアンによるスポーツ講演会、かけっこ教室について

報告2 運動・スポーツに関するアンケート調査結果について

報告3 令和4年度の主な取り組みについて

報告4 公共施設のオンライン予約システムの導入について

4. 議題

議題1 スポーツ推進計画後期計画の進捗状況について

5. その他

・恵那市こども園幼児の体力・運動能力の推移について（中部大学）

・総合型地域スポーツクラブ設立について（中京学院大学）

6. 閉会のあいさつ

令和3年度 恵那市スポーツ推進審議会 委員名簿

No.	所 属	氏 名	役職	備考
1	恵那市スポーツ推進委員連絡協議会	三 宅 祥 市	会長	会長
2	中部大学生命健康科学部 スポーツ保健医療学科	酒 井 俊 郎	副会長	教授
3	中京学院大学経営学部	横 谷 淳	委員	専任講師
4	岐阜県身体障害者福祉協会恵那市支部	鷲 見 辰 星	委員	支部長
5	恵那市地域自治区会長会議	瀬 瀬 佳 恭	委員	飯地地域自治区会長
6	(株) アクトス	磯 村 信 雄	委員	健康事業推進部長
7	(公財) 恵那市体育連盟	山 本 好 作	委員	会長
8	恵那市医療福祉部	加 藤 真 治	委員	部長
9	恵那市小中学校校長会	丸 山 成 之	委員	岩邑中学校校長
10	恵那市こども園園長会	永 治 寿 美	委員	みさとこども園園長
11	恵那市教育委員会	西 尾 朋 子	委員	副教育長

【事務局】

1	教育委員会事務局長	長 谷 川 幸 洋	
2	医療福祉部 健幸推進課長	三 宅 千 春	
3	教育委員会事務局 スポーツ課長	服 藤 知 晃	
4	教育委員会事務局 スポーツ課課長補佐	加 藤 友 美	
5	教育委員会事務局 スポーツ課係長	堀 康 仁	
6	教育委員会事務局 スポーツ課主任	池 戸 佳 奈	
7	(公財) 恵那市体育連盟 専務理事	三 浦 幸 慈	
8	(公財) 恵那市体育連盟 事務局長	大 嶋 卯 巳	

報告1 オリンピアンによるスポーツ講演会及びかけっこ教室について

令和3年12月11日（土）に陸上100m走元日本記録保持者であり、日本人男子初、夏冬オリンピック出場の青戸慎司氏を招き、まきがね公園体育館にてスポーツ講演会及びかけっこ教室を実施した。

スポーツ講演会は「継続は力なりー夏冬オリンピックを乗り越えてー」をテーマに講演が行われ、スポーツ指導者等122名が参加し、かけっこ教室には、市内小学生とその保護者189名が参加した。



講演会の様子



かけっこ教室の様子

報告2 運動・スポーツに関するアンケート調査結果について

市内小学5年生の児童及び中学2年生の生徒を対象にスポーツ推進計画の目標指標の現状値を確認するため、令和3年11月17日（水）～12月15日（水）アンケート調査を行った。回答結果詳細は別紙のとおり。

スポーツ推進計画の目標指標については以下のとおり。

【子どもの健全育成】

目標指標	算出方法		単位	H26 策定時	R2 中間見直し	R3	目標数値 R7
運動・スポーツが好きな子どもの割合	小学生	運動・スポーツに関するアンケート調査 設問「あなたは現在、運動やスポーツをすることが好きですか。」より	%	62.7	66.5	55.1	75.0
	中学生	運動・スポーツに関するアンケート調査 設問「あなたは現在、運動やスポーツをすることが好きですか。」より	%	52.0	54.9	45.9	63.0
子どものスポーツ実施率	小学生	運動・スポーツに関するアンケート調査 設問「その運動やスポーツを行った日数を全て合わせると、1年間にどの程度になりますか。」より	%	62.5	68.2	76.9	79.0
	中学生	運動・スポーツに関するアンケート調査 設問「その運動やスポーツを行った日数を全て合わせると、1年間にどの程度になりますか。」より	%	76.8	80.9	81.9	90.0

【競技力向上】

目標指標	算出方法		単位	H26 策定時	R2 中間見直し	R3	目標数値 R7
子どもたちの「上達したい」意欲・やる気	小学生	運動・スポーツに関するアンケート調査 設問「あなたがその運動を行ったきっかけはなんですか」より	%	52.0	42.7	39.5	52.0
	中学生	運動・スポーツに関するアンケート調査 設問「あなたがその運動を行ったきっかけはなんですか」より	%	50.2	40.2	39.8	51.0

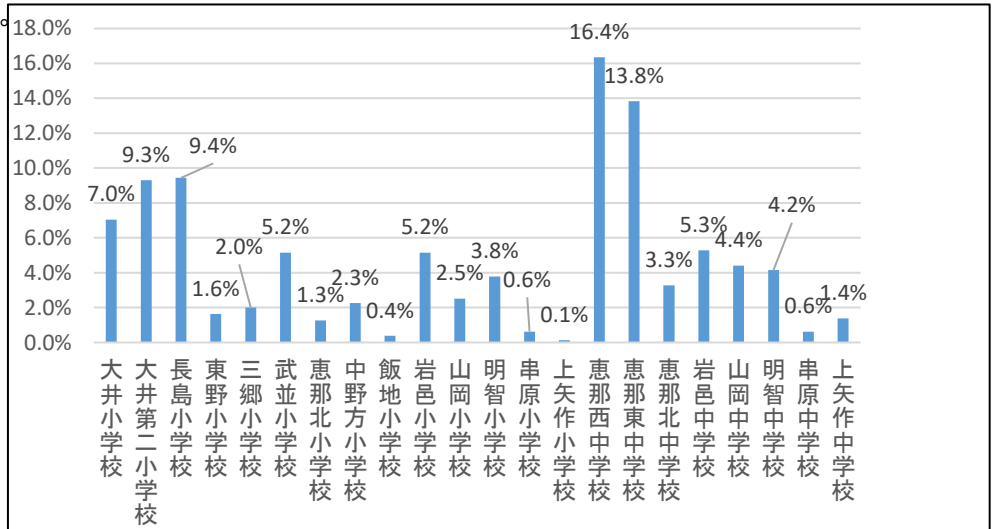
運動・スポーツに関するアンケート調査結果について

【アンケート】

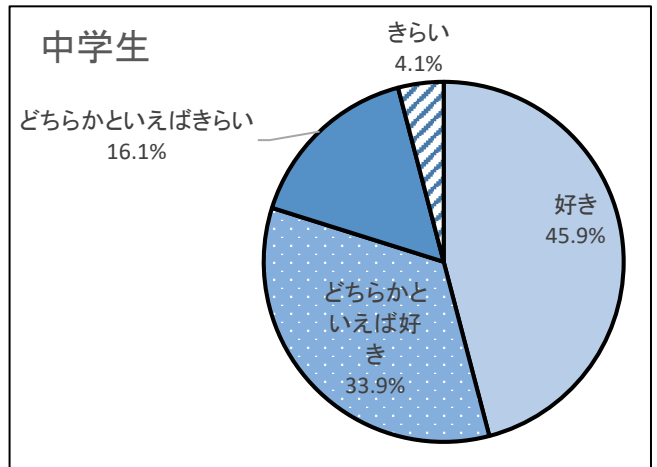
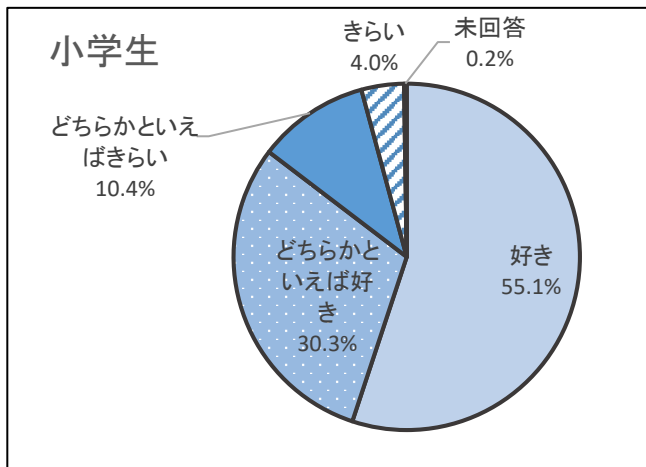
対象	市内公立小学校の5年生全児童 市内公立中学校の2年生全生徒
方法	インターネットの回答フォーム
期間	令和3年11月17日～12月15日
回収率	93.9% (795/847)

【結果】

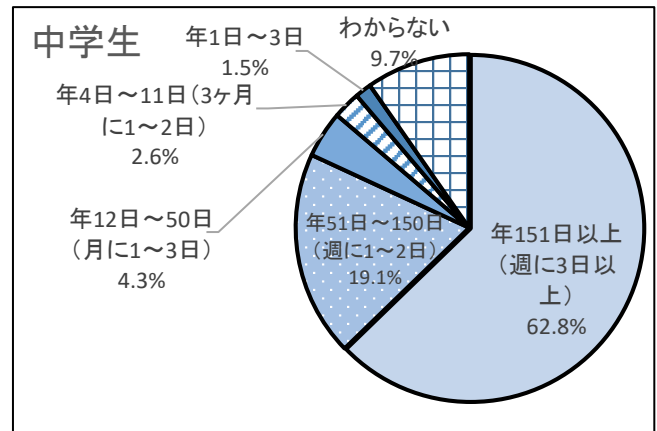
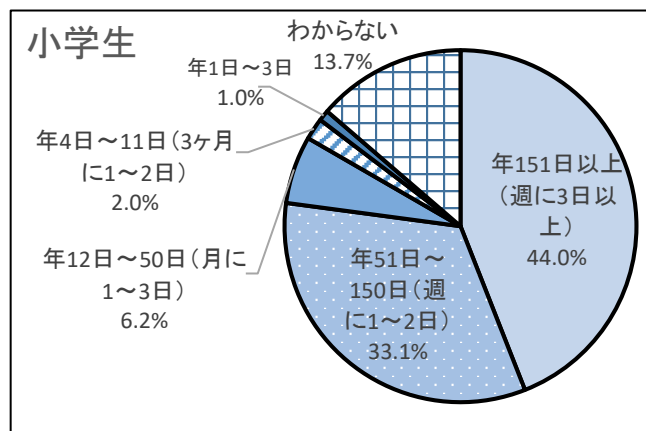
1. あなたの学校はどちらですか。



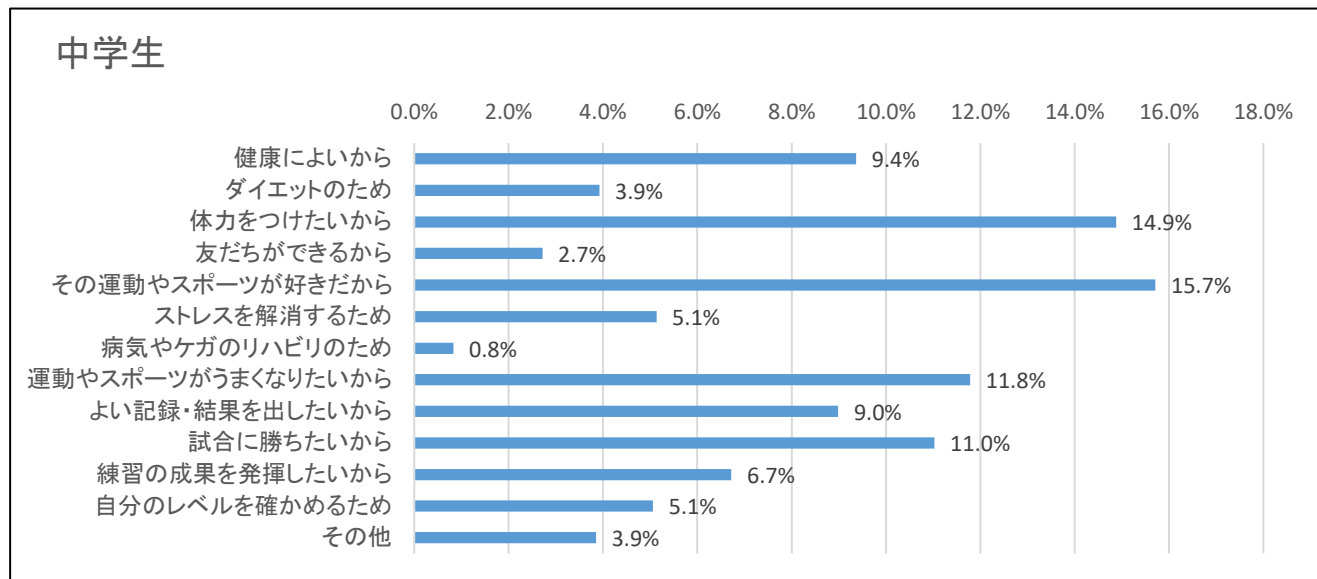
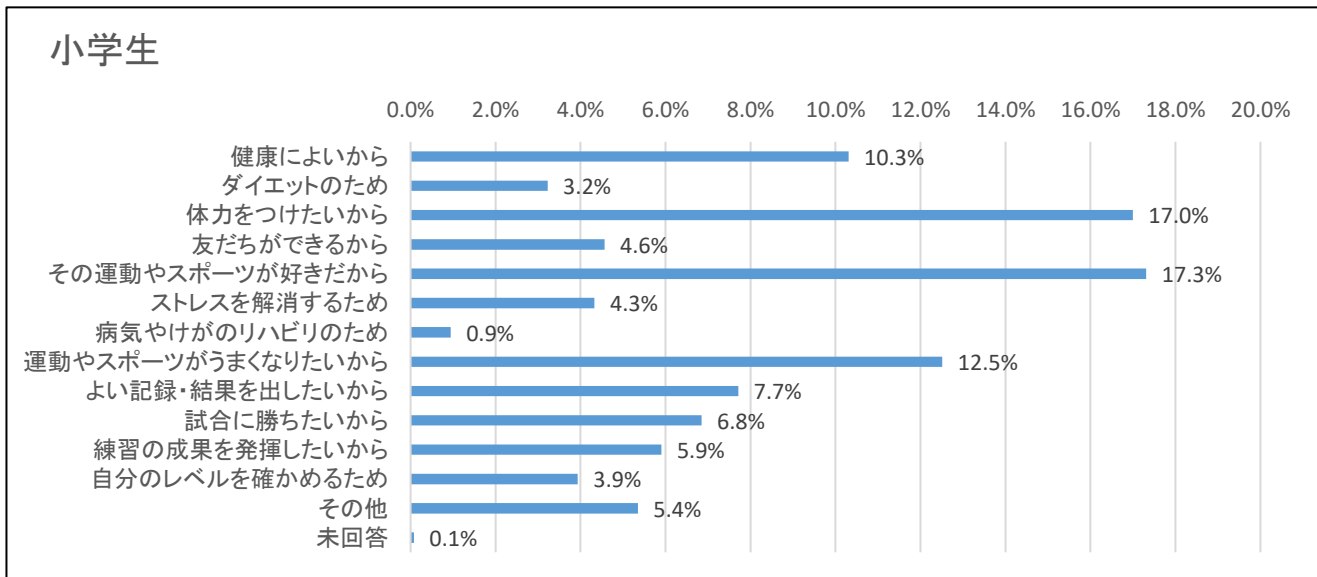
2. あなたは現在、運動やスポーツをすることが好きですか。



3. あなたが学校の授業以外(休み時間、放課後、部活動含む)で運動やスポーツを行った日数をすべて合わせると、1年間にどの程度になりますか。



4. あなたが運動やスポーツをするきっかけはなんですか。(当てはまるものすべて選んでください。)



【令和2年度との比較】

- ・「運動やスポーツをすることが好き」と答えた小学生は11.4%減少し、中学生は9%減少しています。
- ・「運動やスポーツを週に1日以上行った」と答えた小学生は8.7%増加し、中学生は1%増加しています。
- ・令和2年度は「運動やスポーツをするきっかけ」について、小中学生ともに「好きだから、上手くなりたいから、体力をつけたいから」の順で回答が多く、令和3年度は「好きだから、体力をつけたいから、上手くなりたいから」の順で回答が多いため、体力をつけることがきっかけで運動をしている人が増えていることが考えられます。

報告3 令和4年度の主な取り組みについて

1. 健康づくり

●エーナ健幸ポイント〈拡充〉

・紙用紙での申し込みの他に、携帯アプリ（え〜なび）を活用し、QRコードからスタンプを取得し、健幸ポイントラリーに手軽に参加できる仕組みを追加する。

・ポイントメニューのコースを増やし、多くの方が参加しやすいメニューとする。



2. 子どもの健全育成

●こども園運動プログラム〈拡充〉

・令和3年度までは、5台の体力測定機器を園に貸し出し体力測定を実施していたが、令和4年度からは公立こども園全14園に体力測定機器を配備し、いつでも測定できる環境を整える。

●オリンピックによるかけっこ教室事業〈拡充〉

・100m走元日本記録保持者でありオリンピックでもある、青戸慎司氏によるかけっこ教室を小学生を対象に開催する。

令和3年度に実施した全市1年生から6年生を対象にした教室に加え、令和4年度は全小学校の授業の中で主に4、5年生を対象に実施する。



「かけっこ教室」の様子

3. コミュニティづくり

●スポーツ団体PR事業（新規）

・認定生涯学習活動団体及び恵那市体育連盟加盟団体の活動状況やPR等の情報を恵那市ウェブサイトに掲載し、市民の加入促進を図る。

市内スポーツ団体の会員募集

恵那市には多くのスポーツ団体があり、会員を募集しております。
加入したい団体があった場合は、団体の代表者等を紹介しますので、(公財)恵那市体育連盟までご連絡をお願いします。

問い合わせ
(公財) 恵那市体育連盟
TEL: 0573-23-6478

【会員募集中のスポーツ団体一覧】

番号	団体名	種目	活動場所	活動日時	詳細情報
1	〇〇バドミントン	バドミントン	武並小学校体育館	毎週土曜 午後1時30分から	〇〇バドミントン.pdf (PDF30.5KB)
2	バレー□□	バレーボール	長島小学校体育館	毎週水曜日 午後7時から	https://www.bレー□□.ip/
3	▲▲サッカー	サッカー	まきがね公園多目的広場	毎週土曜日 午前9時から	https://www.facebook.com/▲▲サッカー
4	卓球◎◎	卓球	岩邑中学校柔剣道場	毎週火・木曜日 午後7時から	https://twitter.com/◎◎卓球
5	陸上◆◆	陸上	明智中学校グラウンド	毎週土曜日 午後1時から	https://www.instagram.com/◆◆陸上

市ウェブサイト掲載イメージ図

4. 観光交流

●オリンピックによるスケート教室事業（新規）

・オリンピックである村上佳菜子氏による、フィギュアスケート教室、講演会を開催し、スケートの普及推進とクリスタルパーク恵那スケート場の知名度向上につなげる。

●スポーツ合宿誘致事業（拡充）

・笠置峡ボート・カヌー場のPR動画、パンフレットを作成し、国内の実業団、大学のボート、カヌー部等を対象に誘致を行う。

・スポーツ合宿助成交付金(ひとり1泊1,000円)の上限を1団体10万円から20万円に引き上げる。



笠置峡ボート・カヌー場全景

●笠置峡アクアスポーツ教室事業（新規）

・東京 2020 オリンピックポーランドカヌーチームによる事前キャンプが行われた笠置峡ボート・カヌー場にて、ボート、カヌー、サップ教室を開催し、アクアスポーツの普及と笠置峡の知名度の向上を図る。



「ポーランドカヌーチーム練習」の様子

●サイクルツーリズム普及促進事業（新規）

・市内の自然資源を活用したコース造成により、周遊観光を促進する。道の駅や観光施設にサイクルスポットを設置するなどし、新たな観光誘客につなげる。



「サイクルツーリズム」の様子

5. 競技力向上

●大学との連携による専門スポーツ教室事業（拡充）

・中京学院大学等近隣大学運動部と連携し、中学生を対象にしたスポーツ教室を開催し、競技力向上につなげる。



「中京学院大学卓球部による卓球教室」新聞記事

報告4 公共施設のオンライン予約システムの導入について

1. 概要

いつでも、どこからでも施設の予約及び予約状況が確認でき、市民生活の利便性向上を寄与するため、パソコン、スマートフォン等のデジタルツールを利用し、公共施設をオンラインで予約できるシステムを導入する。また、オンライン予約により、予約時の非接触化が図れ、新型コロナウイルス感染防止につながる。ポストコロナの観点から、市民サービスの向上を図るため、併せてキャッシュレス決済も導入する。

2. 対象施設

スポーツ施設、学校開放施設、文化施設、コミュニティセンター等

3. 予約

市ウェブサイトの予約画面から予約する。

4. 料金の支払い

キャッシュレス決済を導入（クレジットカード、電子マネー等）

5. 導入スケジュール

令和5年1月 利用者説明会、システム仮運用

令和5年3月 システム本格運用

6. その他

従来の窓口での予約、料金支払いについては、引き続き実施する。



イメージ図：システムの予約画面

議題1 スポーツ推進計画後期計画の進捗状況について

区分	後期計画策定時(R2)の現状と課題	めざす姿	指標	令和3年度の事業成果(令和4年2月末)	今後の取り組み又は課題
1 健康づくり	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●健康増進を目的として、運動やスポーツを実施・ウォーキング等の手軽な運動(有酸素運動)が健康増進につながることは、広く認知されている。(87.8%) ●意識的に普段から歩こうとしたり、今後ウォーキングに取り組みたいと考えている方が多い。(78.5%) ●運動やスポーツの実施状況の低迷 <ul style="list-style-type: none"> ●恵那市の成人の週1回以上のスポーツ実施率は、36.6%。国(53.6%:令和元年度)や県(47.7%令和元年度)より低い状況である。 ●運動やスポーツが思うようにできない理由としては、仕事(家事、育児)が忙しく時間がないという理由が最も多い。(31.6%) ●働き世代の30歳代のスポーツ実施率が低い。 ●中高年の運動・スポーツ活動の推進、初心者向けのスポーツ教室の充実が求められている。また、高齢者や障がい者の方にとって、手軽な運動は交流や社会参加のきっかけとしても期待されている。 ●高齢化の進展や生活習慣病の増加が懸念 <ul style="list-style-type: none"> ●恵那市は、全国や県と比較して高齢化率及び後期高齢化率が高い。 ●生活習慣病の受療率が県内他市と比較して高く、認知症や寝たきりなどの要介護者の増加、介護支援者の負担増加が懸念される。 ●新型コロナウイルス感染防止を念頭に置いた運動・スポーツの取り組みが必要 <ul style="list-style-type: none"> ●運動スポーツの活動時のみではなく、普段の利用時においても感染防止を図る必要がある。 ●運動・スポーツを安全に行うには、一人ひとりの感染防止の意識と施設や競技ごとの感染防止対策の徹底が求められる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎運動やスポーツを始めるきっかけづくりが必要。 ◎ウォーキングなどの身近な運動に取り組む。 ◎自身のライフスタイルに合わせて運動・スポーツに親しむことが大切 ◎健康寿命の延伸を図る。 ◎障がいの有無に関わらず、全ての人が運動・スポーツに親しむことが大切。 	<ul style="list-style-type: none"> ●市民一人ひとりが運動・スポーツに親しむことが重要。 ●運動・スポーツを始めるきっかけが多く、身近な場所で、自身のライフスタイルに合わせて取り組むことができるまちを目指す。 ●年齢や障がいの有無に関わらず、全ての人が健康でいきいきとした生活を送ることができるまちを目指す。 	<p>●スポーツ実施率 H26 R2 目標値(R7) 36.0% ⇒ 36.6% ⇒ 42.0%</p> <p>●積極値に歩いている人の割合 H26 R2 目標値(R7) 21.1% ⇒ 24.3% ⇒ 33.0%</p> <p>●健康であると感じている人の割合 H26 R2 目標値(R7) 77.9% ⇒ 77.1% ⇒ 82.0%</p> <p>●スポーツ実施者数 R2 目標値(R7) 360,738人 ⇒ 363,000人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「健幸ウォーキング」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ●ノルディックウォーク教室を5月から7月に開催した。 3回 参加者:7名 ●プチ講習でのノルディックウォークや歩き方講座を開催した。 4回 参加者:28名 ●地域のウォーキングマップの見直しを行い、市ウェブサイトに掲載し、周知を図った。 ●オクトーバー・ラン&ウォークの実施 コロナ禍の市民の健康づくりに向けて、スマホアプリを活用したランニング・ウォーキングイベントを10月(1か月間)開催し、市民限定で希望者へ特製キャップをプレゼントした。 参加人数 ランニングの部 34名 ウォーキングの部 211名 計245名 ●「エーナ健幸ポイント」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ●対象年齢を従来の20歳以上から3歳以上と拡大を図り、子どもや親子で運動・スポーツをする動機付けをした。 応募件数:453件 応募者 :265名 (1月31日現在) ※うち、3歳以上20歳未満の応募件数:83件 応募者:63名 ●「きっかけづくり」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ●スポーツを始めたい方、再開したい方をサポートするために、体育連盟窓口「スポーツ・運動なんでも相談窓口」を設置した。子どもにスポーツをさせたいなどの相談が多く、体育連盟加盟団体や市内のサークルを紹介した。 相談件数 14件(2月28日現在) ●年2回市内全戸配布する体育連盟広報誌において、種目団体や地区体育協会のコーナーを設けて活動紹介を行った。また、7月号では「おうちで体操」、12月号では「しながらエクササイズ」記事を掲載した。 <p>【その他の健康づくり施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各種健康教室の推進 <ul style="list-style-type: none"> ●アミックス、市ウェブサイトにて「マキガネクササイズ」を放送した。自宅で簡単に運動に取り組める運動動画として、一般向け、小中学生向け、幼児向けを提供した。 ●山岡健康増進センター及びまきがね公園体育館健康体力センターを利用して、健康教室を開催している。 「コトレチャレンジ」4月～1月 80名参加 「筋力アップ教室」コロナの影響により中止 「男前健康教室」11月～12月 7回 26名参加 ●プチ講習の実施(毎週金曜日) 1回30分の筋トレ、ストレッチポールなどのトレーニング講習を開催している。34回開催 延べ245名参加 ●まきがね健康運動教室の実施(毎週木曜日) 31回開催 延べ167名参加 ○高齢者の健康・体づくり教室の推進 <ul style="list-style-type: none"> ●壮健クラブにて軽スポーツや体力測定を実施する予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。しかし、感染者が減少したため、ベタンク大会を11月18日に実施。人数制限を行い、応援者や来賓無しで実施した。 ○障がいの者のスポーツ交流会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ●10月に障がいを持つ方を対象としたワンバウンドドッジボールを計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 ●10月に計画していた身体障害者東濃ブロック体育大会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 ●2月に恵那スケート場でカーリングボウリング交流会を計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「健幸ウォーキング」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ●取り組み ●アプリを利用したウォーキングイベントを検討する。 ●市内で開催されるウォーキング大会を市民メール等で紹介する。 ●「エーナ健幸ポイント」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ●課題 ●令和2年度の応募者数は208名で、対象者の1%にも満たない。 ●取り組み ●アプリ(え～なび)を活用し、QRコードを読み込むことでスタンプを取得するスタンプラリーを検討中。 ●ポイント取得メニューを簡素化し、手軽に応募できる仕組みを考案中。 ●「きっかけづくり」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ●取り組み ●体育連盟加盟団体や認定生涯学習活動団体の会員獲得のため、会員募集や活動内容を市ウェブサイトにてPRする。 ●年2回発行の体育連盟広報誌で競技種目団体や地区体育協会の取り組みを紹介する。 <p>【その他の健康づくり施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各種健康教室の推進 <ul style="list-style-type: none"> ●取り組み ●新たに運動動画を撮影し、アミックスにて放送予定。 ●体育連盟の広報誌にて自宅でできる健康運動の紹介や各種教室の紹介を実施する。 ●企業単位でのまきがね公園体育館健康体力センター利用PRを市内企業等へ積極的に行う。 ●高齢者の健康・体づくり教室の推進 <ul style="list-style-type: none"> ●課題 ●新型コロナウイルス感染症の影響により活動が低下している。引きこもりにならないよう呼びかける必要がある。重症化しやすい高齢者であるため、最新の注意を払い、取り組みを進める。 ○障がいの者のスポーツ交流会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ●取り組み ●10月頃に身体障害者東濃ブロック大会を開催予定。 ●10月、2月頃にスポーツ交流会を開催する。

区分	後期計画策定時(R2)の現状と課題	めざす姿	指標	令和3年度の事業成果(令和4年2月末)	今後の取り組み又は課題
2 子どもの健全育成	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運動・スポーツをする人は、子どもの頃から運動をしている ●運動やスポーツをすることは好きな人の割合は、子どもから大人に成長するにつれて減少傾向にある。 ●子どもの頃に運動が好きだった人は、大人になっても運動やスポーツが好きである傾向がある。 ●青少年の心身の健全育成が求められている ●家族とのコミュニケーション不足や基本的な生活習慣の確立不足、地域での人間関係の希薄化、地域活動への関心の薄れなどが問題である。 ●保護者の生活習慣と子どもの生活習慣は密接に関連している。 ●保護者の生活習慣を見直し、子どもの健全な育成・発達をささえていくことが必要。 ●子どもたちの遊び場の環境変化 ●スマートフォン・家庭用ゲーム機の普及や安全性の観点などから、屋外で遊ぶ子どもの姿が少なくなっている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎乳幼児期から身体を動かす楽しさを知ることが大切。 ◎運動やスポーツを楽しみながら続けられる環境が必要。 ◎運動・スポーツを通じて、身体だけでなく心の成長を促すことが大切。 ◎子どもたちが安心・安全に遊べる環境づくりが重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもたちが運動・スポーツを心から楽しむことが重要。 ●乳幼児期から親子で身体を動かし、身体を動かす楽しさを体感することができるまちを目指す。 ●子どもたちが豊かな自然の中や多様な人間関係の中で、運動・スポーツを通じて人と人とのつながりや思いやりをも体感することができるまちを目指す。 	<p>●運動・スポーツが好きなこどもの割合</p> <p>【小学生】 H26 R2 目標値(R7) 62.7% ⇒ 66.5% ⇒ 75.0%</p> <p>【中学生】 H26 R2 目標値(R7) 52.0% ⇒ 54.9% ⇒ 63.0%</p> <p>●子どものスポーツ実施率</p> <p>【小学生】 H26 R2 目標値(R7) 62.5% ⇒ 68.2% ⇒ 79.0%</p> <p>【中学生】 H26 R2 目標値(R7) 76.8% ⇒ 80.9% ⇒ 90.0%</p>	<p>●「運動習慣はじめの一步」プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ●こども園運動プログラムでは、こども園園児の体力測定を5～6月に実施した。 参加者:737名 ●こども園運動遊び交流会を10～11月に7園で実施した。 参加者:302名 ●親子で運動遊びのつどいを11月に開催した。(園を限定したつどいは新型コロナウイルス感染症の影響により中止) 参加者:81名 ●こども元気プラザ、子育て支援センターでは、乳幼児の親子を対象にした運動遊び行事を毎月実施し、乳幼児期に体を動かす楽しさを感じてもらおう工夫をしている。また、体を動かすふれあい遊びの動画を作成し、市ウエブサイトやYouTubeで配信した。 5月 ふれあい遊び 参加者:親子5組15名 6月 バランスボール 参加者:親子16組35名 7月 夏祭り 参加者:親子20組42名 7月～8月 水遊び 9月 閉館につき動画配信 親子ふれあい遊び中止 10月 リトミック 参加者:親子18組36名 11月 健康な身体づくり 参加者:親子12組24名 12月 リトミック 参加者:親子 8組16名 ●こども園年長対象のキッズサッカー教室開催した。 4回 参加者:80名 <p>【その他の子どもの健全育成施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小中学生を対象とした運動・スポーツ教室の実施 <ul style="list-style-type: none"> ●恵那市スポーツ少年団交流会を実施した。 5月野球 参加者約200名、1月スケート 参加者100名 駅伝、サッカー交流会、新規団員獲得事業は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 ●東濃地区スポーツ少年団交流会を実施した。 9月野球 参加者 約450名(東濃5市から) 駅伝、スケート、指導者資質向上研修会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 ●市内小中学生を対象とした、カヌー体験教室を6月と9月に計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。 ●100m走元日本記録保持者の青戸慎司氏によるかけっこ教室を12月11日に実施した。 参加者:189名 ●市内小学校5年生の児童及び中学2年生の生徒を対象に運動実施率を把握するため、アンケートを11～12月に実施した。 回答者:795名 ○スケート場の利用状況について <ul style="list-style-type: none"> ●ノルディックウォーキング3回7名、サッカー教室4回80名参加 ●夕涼みインライン3回716名参加 ●学校スケート教室:市内小中学校18校2,165名、市外小中学校2校177名参加 ●無料スケート教室:2回91名、カーリング教室:1回20名、フィギュアスケート教室:8回延べ153名参加 ●アイススケートイベント:オープンイベント、クリスタルデー、クリスタルクリスマス、最終日感謝イベント参加者数延べ5,376名 <p>※スケート場利用者数:夏季7,182人、冬季37,238人、年間1,043人 計45,463人(2月28日現在)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「運動習慣はじめの一步」プロジェクト 〈取り組み〉 ●こども園全園(14園)へ体力測定機器を配備し、いつでも測定できる環境作りを行う。 ●こども元気プラザ、子育て支援センターでは、乳幼児親子を対象とした運動遊び行事を年間を通して計画実施していく。 ●大井児童センターでは、赤ちゃん教室の中で体を動かすお話やリトミックを実施している。 ●中野児童センターでは随時体力測定を実施しているほか、卓球体験、ポッチャ体験を実施している。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●こども園運動プログラムでは、子どもの体力向上の検証方法を検討する。 <p>【その他の子どもの健全育成施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小中学生を対象とした運動・スポーツ教室を実施する。 〈取り組み〉 ●100m走元日本記録保持者である青戸慎司氏を講師に迎え、市内全小学校3年生以上と市内全域の子どもを対象にかけっこ教室を実施する。全てのスポーツの基本となる走り方の指導を受けることにより、体力、競技力向上への意識付けを図る。 ●小中学生を対象にしたカヌー体験教室を実施する。

区分	後期計画策定時(R2)の現状と課題	めざす姿	指標	令和3年度の事業成果(令和4年2月末)	今後の取り組み又は課題
3 ・ コ ミ ユ ニ テ ィ づ く り	<p>【現 状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運動・スポーツを通じた地域交流に期待 ・スポーツを通じた、仲間・友人づくり、生きがいづくり、地域の絆を深めるコミュニティの活性化を期待している。 ・「年齢に関係なく」「地域と交流したい」という理由で、子どもから大人まで一緒になって運動・スポーツをする機会があれば参加したいという意見が多い。(23.8%) ・子どもたちの多くが、地域の友だちや大人と一緒に運動やスポーツをしたいと考えている。(小学生:53.3% 中学生:73.7%) <p>●地域における運動・スポーツの担い手が求められている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のスポーツ活動の担う人材・団体として、(公財)恵那市体育連盟、恵那市スポーツ推進委員、恵那市地域スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ、地区体育協会などがある。 ・地区体育協会やスポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブが企画・運営するイベントへの参加者数は減少傾向にある。 <p>●ライフスタイルの変化に伴い地域のつながりが希薄化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフスタイルの都市化が進み、地域のイベントや行事に参加する人が減少している。 <p>【課 題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎地域にける運動・スポーツ活動を活性化し、地域の交流を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域コミュニティの核となる組織や場所などの資源を活用することが重要。 ●指導者や大会ボランティアなど様々な立場から「ささえる」人を増やし、ささえる人同士のコミュニティづくりが重要 ●各地域で活動しているスポーツ推進組織に活力があり、コミュニティセンターや学校開放施設などを拠点として、運動・スポーツを通じて地域の交流や絆が生まれるまちを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ●世代を超えたスポーツ機会への参加意向 H26 R2 目標値(R7) 29.2% ⇒ 23.8% ⇒ 30.0% ●総合型地域スポーツクラブ主催イベント参加者数 H26 R2 目標値(R7) 12,699人 ⇒ 14,667人 ⇒ 17,000人 ●イベントボランティア数 R2 R7 1,055人 ⇒ 1,100人 	<ul style="list-style-type: none"> ●「1人1運動・スポーツ」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ・運動なんでも相談窓口を設置4月からスポーツを始めたい方、再開したい方をサポートするために体育連盟に窓口を設けた。 ・相談件数 14件(2月28日現在) ・スポーツ教室 1人1スポーツのきっかけづくりとするため、初心者を対象とした弓道・テニス・卓球・バドミントン、水泳教室を予定していたが、水泳教室以外は新型コロナウイルス感染症の影響によりすべて中止した。 ・水泳教室 45名参加 ・スケート場にてインラインスケート、ノルディックウォーク教室及びバスケットボール3X3大会を開催した。 ・ノルディックウォーク教室 3回 7名参加 ・インラインスケート教室 3回 79名参加 ・バスケットボール3×3大会 1回 38名参加 ●市民体育大会の開催 1月末までに16種目を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により8種目中止、8種目を実施した。 弓道8月22日、軟式野球10月3日、クレー射撃10月10日、ゲートボール 10月14日、アーチェリー10月17日、バドミントン11月7日、駅伝11月28日、バスケットボール12月5日 ●スポーツ推進委員連絡協議会では、地域で行える軽スポーツとしてポッチャ体験教室を11月に行った。 ●各地区体育協会等では、コロナ感染症対策を講じてスポーツイベントを行った。 大井町スポーツ協会 ポッチャ教室11月 20名、ウォーキング教室1月 28人 中野方町体育協会 ウォーキング大会1月 60人 飯地町体育協会 ボーリング大会12月 23人 岩村町体育協会 体力測定10月 100人 上矢作体育協会ソフトバレーボール大会 11月 50人 串原体育協会 ウォーキング大会6月、10月、11月 165人、カヌー体験8月 28人 ●「ささえる」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に開催した冬季国体の国体応援隊登録者に対して募集を実施した。 ・ささえるボランティア登録者数 42名、1団体 ・ささえるボランティアに対し、12月に開催したモータースポーツイベント「WOMEN'Sラリー」のボランティア募集を行い、ボランティアの参加協力があつた。 <p>【その他コミュニティづくり施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合型地域スポーツクラブの活性化 総合型地域スポーツクラブの会員数 えなイースト 348名 あけちクラブ 133名 福寿の里 50名 主なイベント えなイースト:バレー、卓球、ダンス等教室 あけちクラブ:貯金運動、インラインスケート、ゴルフ教室等 飯中笠クラブ:カヌー教室 	<ul style="list-style-type: none"> ●「1人1運動・スポーツ」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> 〈取り組み〉 ・各地区体育協会や地域ごとのスポーツイベントを開催する。 ・体育連盟加盟団体や認定生涯学習活動団体での会員募集や活動内容を市ウェブサイトにてPRする。 ・スポーツ推進委員連絡協議会では、軽スポーツの体験や研修を行い、地域への普及を図る。 ・スポーツを始めるきっかけ作りとして各種スポーツ教室を実施する。 ●「ささえる」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> 〈取り組み〉 ・市内で開催されるスポーツイベント等に、ささえるボランティアへボランティア募集の案内を行う。 <p>【その他コミュニティづくり施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合型地域スポーツクラブの活性化 〈課題〉 ・新型コロナウイルス感染症の影響により活動が制限される。 ・コロナ禍という理由で練習日当日に人数がそろわず活動ができない時がある。 ・教室の発表会が予定どおり出来ず、退会する子がいる。

区分	後期計画策定時(R2)の現状と課題	めざす姿	指標	令和3年度の事業成果(令和4年2月末)	今後の取り組み又は課題
4 観光交流	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●観光まちづくりに取り組む ●恵那市には、恵那峡や奥矢作湖、中山道、岩村城址と街並み、日本大正村などの観光地を抱える都市である。 ●観光資源を活用し、交流人口を拡大させ、地域のにぎわいの創出、消費の拡大、雇用の場の確保など、地域の活性化に取り組んでいる。 ●スポーツと融合できる観光資源 ●木曾川でのボート・カヌー体験、笠置山でのボルタリング、明知鉄道とタイアップしたウォーキングイベントなど観光資源を活用したイベントが行うことができる。 ●着地型体験コンテンツを目的として恵那市に訪れる交流人口が増加傾向にある。 ●スポーツツーリズムが注目 ●旅でスポーツを楽しむといった、スポーツと観光を融合し、新しい価値・感動の提供をめざす「スポーツツーリズムが全国的に活発している。 ●恵那峡ハーフマラソン、日本大正村クロスカントリーには、毎年多くの参加者がある。特に市外からの参加者が多い。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎観光資源と運動・スポーツの融合を図り、運動・スポーツを通じて交流・活力・にぎわいを生み出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ●豊かな自然や文化が織りなす豊富な観光資源を、いかに運動・スポーツと融合させるかが重要。 ●自然や文化を生かしたスポーツ交流が数多く生まれ、運動・スポーツや観光を目的として多くの人が訪れ、活気やにぎわいに満ちたまちを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ交流人口数 R2 目標値(R7) 13,425人 ⇒ 26,000人 	<ul style="list-style-type: none"> ●「スポーツ合宿誘致」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ●まきがね公園、山岡・明智B&G等のスポーツ施設で、スポーツ合宿を受け入れた。 20件 514名 ●まきがね公園、山岡・明智B&G等のスポーツ施設の予約状況をHP上に掲載し、合宿利用申し込み者の便宜を図った。 ●恵那市スポーツ合宿助成金交付実績 交付件数9件 参加人数362名 延べ宿泊数664日 ●スポーツ合宿旅行誘致促進事業補助金を活用し、市内宿泊施設がドローン撮影による各種目別練習場所の案内動画を制作し、自社ホームページでPRした。 ●「スポーツツーリズムによる地域資源活用」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ●スケート場で遊んだ後、恵那市を観光してもらうため「どこいマップ」を作成し、配布を開始した。 ●ジバスクラム恵那が8月1日からインターネットサイト「アエルサイト」を開設し、カヌー体験や宿泊施設などの情報発信を開始した。 ●着地型観光創出支援事業補助金を活用し、阿木川ダム湖における水上アクティビティ事業が新規に開始された。 <p>【その他観光交流施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 東京2020オリンピック事前キャンプの実施 <ul style="list-style-type: none"> ●笠置峡ボート・カヌー場でポーランドカヌーチームが事前キャンプを行い、笠置峡ボート・カヌー場を発信した。 ポーランドカヌーチーム事前キャンプ 7月18日～31日 選手団21名 ○ マラソン大会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染症の影響により、恵那峡ハーフマラソン及び大正村クロスカントリーを延期し、オンラインによるリモート大会とした。 ○ ねんりんピック岐阜2021の開催について <ul style="list-style-type: none"> ●恵那市では、10月30日マレットゴルフ大会を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、岐阜大会自体が中止となった。 その後、国等との調整により令和7年度岐阜県大会開催が決定した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「スポーツ合宿誘致」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ●＜取り組み＞ ●旅行会社や宿泊事業者が取り組むスポーツ合宿誘致にかかる経費を引き続き支援する。本市ならではの誘致強化を図るため、笠置峡ボート・カヌー場、岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場及び市内弓道場を使用するスポーツ合宿旅行の誘致については、現行の補助金額の上限10万円を20万円に引き上げる。 ●ジバスクラム恵那、観光協会、体育施設、宿泊施設が連携し、大学や実業団への共同プロモーション活動を実施する。 ●スポーツ合宿助成交付金(1泊1,000円、上限20万円)を継続して実施する。 ●市内のスポーツ合宿受入可能な宿泊施設と、競技場や体育館などを合わせた一体的な情報発信をウェブサイトやSNSを活用して強化を図る。 ●＜課題＞ ●中長期的には、給食や送迎など合宿に必要なサービスを提供する事業者に対し支援を図ることが求められる。 ●スポーツ合宿を通じて、関係人口を増加させるため、市民と大学や実業団が交流するスポーツ教室などの機会の開催に繋げる。 ●「スポーツツーリズムによる地域資源活用」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ●＜取り組み＞ ●ジバスクラム恵那による市内事業者と域外事業者の引き合わせ、コラボレーションによる事業実施に取り組む。 ●ポストコロナにおけるサイクルツーリズムの需要拡大に着目し、ニーズ調査を行うと共に、サイクルスタンドの設置など受入環境の整備を図る。 ●引き続き、事業者や旅行会社がアクティビティを造成する際に必要な経費の一部を補助する。令和4年度から、造成促進を強化するため補助金の上限額を10万円から30万円に引き上げる(補助率1/2)。 ●＜課題＞ ●森林アクティビティや水辺アクティビティなど、地域資源を活かした着地型体験コンテンツを磨き上げ、持続可能で稼げる常設型のコンテンツや旅行商品とする取り組みが必要である。 <p>【その他観光交流施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 東京2020オリンピック事前キャンプ記念事業 <ul style="list-style-type: none"> ●＜取り組み＞ ●オリンピックレガシーである笠置峡ボート・カヌー場に、ポーランドカヌーチーム事前キャンプ記念プレートを設置し、またボート、カヌー、サップ教室の開催や笠置峡のPR動画やチラシを作成し実業団や大学等のボート、カヌー部への合宿誘致を行う。 ○ マラソン大会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ●＜取り組み＞ ●コロナ後のリアル大会実施に向けて準備を進める。 ○ オリンピアン交流事業について <ul style="list-style-type: none"> ●＜取り組み＞ ●フィギュアスケートオリンピックである村上佳菜子氏によるスケート教室及び講演会を恵那市文化振興会と共催で開催予定。スケートの普及、クリスタルパーク恵那スケート場の知名度向上となる。

区分	後期計画策定時(R2)の現状と課題	めざす姿	指標	令和3年度の事業成果(令和4年2月末)	今後の取り組み又は課題
5 ・ 競 技 力 向 上	<p>【現 状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●競技スポーツへの関心高まり ・令和3年1月、9年ぶりの国体スピードスケート競技が開催され、市民のスポーツに対する関心が高まった。 ・令和3年度に東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定により、人々のスポーツに対する関心は今後も高まる。 ●子どもたちは、スポーツへの意欲・やる気がある ・子どもたちは、「スポーツが上手になりたい」「試合に勝ちたい」「よい記録・結果を出したい」という意欲・やる気がある。 ・世界を舞台に若いアスリートが多く活躍している。年齢を感じさせない彼らの活躍や努力を惜しまぬ姿勢は、子どもたちの憧れ・目標である。 ●(公財)恵那市体育連盟のスポーツ指導者の登録 ・(公財)恵那市体育連盟は、市民の体力向上を図るとともに、地域社会の発展に寄与することを目的として、スポーツの普及振興を推進している。 ・同連盟には、種目別、地域別に多くのスポーツ指導者が登録されており、子どもから大人まで、地域のスポーツ力の向上を支援する。 <p>【課 題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎質の高い技術・技能を持つスポーツ指導者を育成する。 ◎子どもたちの意欲・やる気を伸ばす。 ◎トップアスリートを育て、支えていく仕組みを築く。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「上達したい」という意欲・やる気を大事にして、感動や興奮を与えてくれる競技スポーツ・トップアスリートとのふれあえる機会が多く、質の高い技術指導が受けられることができ、地域全体でアスリートを支える体制の整ったまちを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもたちの「上達したい」意欲・やる気 【小学生】 H26 R2 目標値(R7) 52.0% ⇒ 42.7% ⇒ 52.0% 【中学生】 H26 R2 目標値(R7) 50.2% ⇒ 40.2% ⇒ 51.0% ●国際大会出場選手 H26 R2 目標値(R7) 0人 ⇒ 1人 ⇒ 3人 ●競技人口 R2 目標値(R7) 4,200人 ⇒ 4,200人 	<ul style="list-style-type: none"> ●「スポーツ指導者・ボランティアバンク」プロジェクト ・スポーツ指導者・ボランティア名簿を体育連盟ウェブサイトに掲載し、活躍する場を提供している。 登録者数 81名 ※スポーツ指導者:59名 ボランティア:22名 ●「競技スポーツ指導者育成」プロジェクト ・スポーツ指導の初歩を学べる「恵那市スポーツ指導者養成講習会」を開催し、指導者資格として認定を行っている。 ・スポーツ指導者に対し、各種講演会、講習会などの案内を送付し、指導者として知識・技術の習得の場を提供した。 ・指導者バンク登録者の各種資格取得の支援を実施している。 12月11日に100m走元日本記録保持者である青戸慎司氏による指導者向けの講演会を実施した。参加者:122人 2月に中部大学生命健康科学部 酒井教授による指導者向け講演会を計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 【その他の競技力向上施策】 ○プロスポーツ観戦機会の充実 ・FC岐阜のホームタウンイベントで、地域のクラブチームの見学イベントを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。 ○スピードスケート選手強化育成事業 ・ワールドクラス、全日本クラスの選手3名(岐阜県枠雇用2名、恵那市枠1名)を職員として雇用し、恵那市体育連盟所属選手として1月開催の栃木冬季国体等大会に出場し、それぞれ上位入賞となった。 ・9月までの夏季シーズンのトレーニングの様子を体育連盟広報誌で紹介し、地元選手の夏合宿で直接指導を計画したが、コロナ禍のため中止となった。 ・強化選手である高田衛選手と石川将之選手が10月23日開催の全日本スピードスケート距離別選手権に出場した。高田衛選手は、1000m4位でワールドカップスピードスケート競技会日本代表に選出された。 ○トップアスリートとの交流の機会の充実 ・7月のポーランドカヌーチームの事前キャンプにおいて、世界トップレベルの選手と交流する機会を創出し、競技スポーツに対する意識向上を図った。 7月19日市内小中学校6校とのリモート交流会を実施した。 7月21日近隣小中学校の練習見学を実施した。 参加者:148人 7月24日公開練習を実施 参加者:400人 ・8月13日の東京2020パラリンピック聖火フェスティバルでは、東京2020パラリンピックテコンドー競技日本代表の工藤俊介選手からのメッセージを会場及びケーブルテレビにて配信し、競技スポーツに対する意識向上を図った。 ・地元スケート選手の夏合宿にて、スピードスケート強化選手による直接指導を計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 ・12月11日100m走元日本記録保持者である青戸慎司氏によるかけっこ教室を実施し、全てのスポーツの基本となる走り方の指導を行った。参加者:189人 ・1月東京パラテコンドー競技日本代表の工藤俊介選手によるテコンドー教室を開催予定であったが、新型コロナ感染症の影響により中止となった。 ○大学との連携によるスポーツ指導の充実 ・10月16日に中京学院大学運動部との連携事業として、中京学院大学卓球部による卓球教室を、中学生を対象として開催した。 参加者:38人 	<ul style="list-style-type: none"> ●「スポーツ指導者・ボランティアバンク」プロジェクト 〈課題〉 ・若い年代の指導者が少ない。 ・指導者を地元以外の地域から派遣することが難しい。 ・指導者と指導を求める側の条件のミスマッチがある。 ●「競技スポーツ指導者育成」プロジェクト 〈取り組み〉 ・引き続き指導者養成講座を開催し、指導者の人員確保と資質の充実を図る。 【その他の競技力向上施策】 ○プロスポーツなどの観戦機会の充実 〈取り組み〉 ・6月のFC岐阜ホームタウンイベントにて、地域のサッカーチームの見学を実施しプロスポーツ選手の試合観戦により、サッカーへの関心を高める。 ・12月に恵那スケート場で開催予定の全日本選抜スピードスケート大会に出場する、スピードスケート強化選手の活躍する姿を市民に見てもらい競技スポーツに関する関心を高める。 ○スピードスケート選手強化育成事業 〈取り組み〉 ・岐阜県枠2名の選手を恵那市体育連盟で雇用し、国体を始め、全国レベルの大会での活躍を紹介しスケートへの関心を高める。また、大会にて地元選手との交流や技術指導を受けることにより、選手の競技力向上を図る。 ○トップアスリートとの交流の機会の充実 〈取り組み〉 ・小学生を対象に、100m走元日本記録保持者である青戸慎司氏によるかけっこ教室を実施する。全てのスポーツの基本となる走り方の指導を受けることにより、体力、競技力向上への意識付けを図る。 ・スケート強化選手によるジュニアスケート選手に向けてリモート講習会を実施し、選手の意識面での底上げを図る。 ○大学との連携によるスポーツ指導の充実 〈取り組み〉 ・中京学院大学、中部大学運動部と連携し、卓球、野球ソフト等の競技種目を増やしスポーツ教室を開催する。